

展覧会概要

色鮮やかなガラス瓶やビー玉。色ガラスは、暮らしの中の身近な記憶とともに、私たちの心ときめかせてきました。19世紀初頭、化学の発展を背景に、職人やデザイナーたちは新たな色を生み出すため、素材や配合、技法の研究と実験を重ね、ガラス表現に大きな革新をもたらします。フレデリック・カーダー (Frederick Carder)、エミール・ガレ (Émile Gallé)、ルネ・ラリック (René Lalique)、レオ・モーゼル (Leo Moser)、ルイス・コンフォート・ティファニー (Louis Comfort Tiffany) らによる作品は、ガラスにおける色の広がりや光との関係性によって多彩な表情を引き出してきました。色ガラスは装飾芸術から日用品へと広がり、人々の生活を豊かに彩っていきます。本展では、色ガラスの普及、素材と技法の革新、暮らしへの広がり、現代への継承という4つの視点から、コーニング・ガラス美術館の所蔵品約140点と富山市ガラス美術館の作品とにより、その魅力を紹介します。

出品作品 (一部)



1. ルネ・ラリック (デザイン)、R. ラリック社 (製造) 《花器「フォルモーズ」》1924年 (デザイン)
(Vase, *Formose (Formosa)*, CMoG 2011.3.430. Gift of Elaine and Stanford Steppa. Courtesy of the Corning Museum of Glass, Corning, NY.)



2. ハインリヒ・ホフマン (デザイン)、カールスバード・クリスタルガラス工場株式会社ルートヴィヒ・モーゼル & ゴーネ、マイヤーズ・ネッフェ (製造) 《花器》1928-1930年
(Vase, CMoG 2006.3.2. Courtesy of the Corning Museum of Glass, Corning, NY.)

お問い合わせ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町5番1号
Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310
Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp



富山市
ガラス美術館
TOYAMA
GLASS ART MUSEUM



3. ミヒヤエル・ボルヴォルニー（デザイン）、ヨハン・レッツ・ヴィトヴェ（製造）《花器》1918-1920年
（Vase, CMOG 87.3.29. Courtesy of the Corning Museum of Glass, Corning, NY.）



4. A.ダグラス・ナッシュ社（製造）、ティファニー・スタジオ（販売）《花器》1927年頃
（Vase, CMOG 2022.4.1952. Courtesy of the Corning Museum of Glass, Corning, NY.）

QRコードを読み込むことで、本展覧会の概要を多言語にてご覧いただけます。
（日本語、英語、簡体字、繁体字、ハングル、仏語、独語、伊語に対応）



コーニング・ガラス美術館について

1951年に設立されたコーニング・ガラス美術館は、世界最大かつ最も重要なガラスのコレクションを誇り、3500年にわたるガラスづくりの歴史における非常に優れた資料を数多く所蔵しています。当館では毎日、吹きガラスのデモンストレーションをおこない、ガラスという素材の本来の姿をお見せしています。来館者は最先端のガラス制作が可能な“スタジオ”というスクールでガラス作品の制作体験ができます。美術館の構内にあるラコウ研究図書館は、ガラスの芸術と歴史に関する世界有数の所蔵資料を保有しています。



5. コーニング・ガラス美術館外観

建築家トーマス・ファイファー設計による10万平方フィート（約2810坪）のコンテンポラリー・アート+デザインの建築を夕暮れの陽光が温かく照らしている。（画像提供：コーニング・ガラス美術館）

A setting sun casts a warm glow over the Museum's 100,000 square foot Contemporary Art + Design Wing, designed by architect Thomas Phifer

Courtesy of Corning Museum of Glass

お問い合わせ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町5番1号

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310

Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp



富山市
ガラス美術館
TOYAMA
GLASS ART MUSEUM

関連プログラム

特別記念講演会「^{ブリリアント カラー}Brilliant Color : 近代ガラスをめぐる錬金術と担い手たち (Brilliant Color: Exploring Modern Glass's Alchemy and its Makers)」

日 時：7月11日(土) 午後2時～、2時間程度

会 場：富山市ガラス美術館 2階ロビー

講 師：エイミー・マクヒュー (コーニング・ガラス美術館 近現代ガラス担当学芸員/本展監修)

対 象：どなたでも

参加無料、申込み不要、逐次通訳付き

2026 ガラスの街とやま探検バスツアー「ミーツ・ザ・ニュー・カラー」

日 時：8月5日(水) 午前9時から午後5時(予定)

会 場：富山県内(富山駅構内、三芝硝材株式会社、富山大学芸術文化学部)

対象・定員：小学生以上(小学生は要保護者同伴)10組程度

参加費：有料、事前申込み制(応募多数の場合は抽選)

特別講座「色ガラス」

日 時：9月13日(日) 各1時間程度

(1) 第一部 午後1時30分から

講 師：土田ルリ子(富山市ガラス美術館 館長)

(2) 第二部 午後2時45分から

講 師：浅田真帆(本展担当学芸員)

会 場：富山市ガラス美術館 2階ロビー

対 象：どなたでも

参加無料、事前申込み制(応募多数の場合は抽選)

万華鏡制作ワークショップ

日 時：9月19日(土) 午後2時～、1時間半程度

会 場：富山市ガラス美術館 2階ロビー

対象・定員：小学生以上(小学生は要保護者同伴)25名

参加費：材料費、予約者優先制(応募多数の場合は抽選)

お問合せ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町5番1号

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310

Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp



富山市
ガラス美術館
TOYAMA
GLASS ART MUSEUM

学芸員によるギャラリートーク

日 時：7月26日（日）、10月12日（月・祝） 各回午後2時から

場 所：富山市ガラス美術館 2・3階 展示室 1-3

参加無料、申込み不要

※展示室への入場には、本展観覧券が必要です。

○関連プログラムの詳細は美術館公式ウェブサイトや SNS などでお知らせします。

○プログラムは都合により中止、または変更となる場合があります。

最新の情報は美術館公式ウェブサイトをご確認ください。

お問合せ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町5番1号

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310

Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp

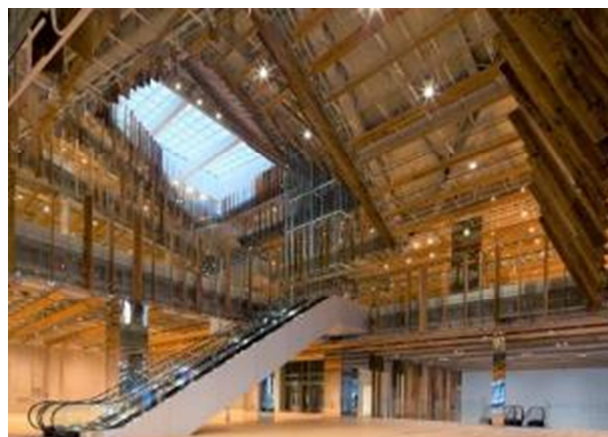


富山市
ガラス美術館
TOYAMA
GLASS ART MUSEUM

美術館概要



6. 富山市ガラス美術館 外観



7. 富山市ガラス美術館 内観

富山市ガラス美術館は、「ガラスの街とやま」を目指したまちづくりの一環として、2015年8月に開館しました。本美術館は富山市立図書館本館などが入居する複合施設「TOYAMA キラリ」内に整備され、富山市の中心市街地に位置することから、文化芸術の拠点としてだけでなく、まちなかの新たな魅力創出の役割を担ってきました。

世界的な建築家の隈研吾氏が設計を手掛けた建物は、御影石、ガラス、アルミの異なる素材を組み合わせ、表情豊かな立山連峰を彷彿とさせる外観となっています。また、内部は富山県産材のルーバー（羽板）を活用した開放的な空間となっています。

常設展として、アメリカの現代ガラスの巨匠、デイル・チフリー氏によるインスタレーション作品を展示する6階「グラス・アート・ガーデン」のほか、所蔵作品を紹介する4階「コレクション展」や2階から4階の展示室壁面などに富山ゆかりの作家が制作した作品を展示する「グラス・アート・パサージュ」があります。また企画展では1950年代以降のグラス・アートを中心に、様々な美術表現を紹介しています。

交通アクセス

〔富山駅から〕

○徒歩 20分 ○市内電車南富山駅前行に乗り、「西町（にしちょう）」下車、徒歩 1分

○市内電車環状線に乗り、「グランドプラザ前」下車、徒歩 2分

（富山駅から「西町」「グランドプラザ前」まで約 10分）〔富山空港から〕

○地鉄バス（富山空港線）「総曲輪（そうがわ）」下車、徒歩 4分

お問い合わせ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町 5 番 1 号

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310

Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp



富山市
ガラス美術館
TOYAMA
GLASS ART MUSEUM

美術館公式 SNS アカウント



Instagram

アカウント名
toyamaglassartmuseum



Youtube

チャンネル名
ToyamaGlassArtMuseum 富山市ガラス美術館

報道関係のお問合せ先

富山市ガラス美術館
Tel. 076-461-3100 Fax. 076-461-3310
E-mail: bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp (代表)

広報担当：宇於崎、高地 展覧会担当：浅田

広報用画像の貸出しについて

p. 2-4、7 の画像 1-7 を広報用に貸出します。ご希望の方は、p. 9 の画像貸出し申請書の使用条件をご確認の上、メールまたは Fax にて上記の美術館広報担当へ申請書をお送りください。

お問合せ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町 5 番 1 号
Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310
Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp



富山市
ガラス美術館
TOYAMA
GLASS ART MUSEUM

年 月 日

(宛先) 富山市ガラス美術館長

担当者： _____
 Tel： _____
 Fax： _____
 E-mail： _____
 住所： _____
 団体名： _____

富山市ガラス美術館 画像貸出し申請書

次のとおり、掲載用素材として企画展「Brilliant Color(ブリリアント カラー)」の画像を申し込みます。

1. 掲載（放映）媒体名： _____

2. 媒体種別：TV 新聞 雑誌 フリーペーパー 電子書籍 WEB サイト 携帯媒体
その他（ _____ ）

3. 掲載の趣旨
別紙のとおり（媒体資料を添付してください） _____

4. 掲載（放映）日時： _____

5. ご希望の画像番号： _____

- 画像は原則、全図でご使用ください。トリミング、部分使用、縦横比の変更、文字のせはご遠慮ください。
- 画像掲出には別途指定するキャプションを必ず入れてください。
- 展覧会広報のみにご使用ください。他の目的でのご使用は固くお断りいたします。
- 商品のPR等の商業利用に関しては画像の提供は出来ません。
- 画像の2次使用はご遠慮ください。
 ※画像が使用できる期間は展覧会期間内のみとなります。
 ※同一記事の再掲載や再放送等については再申請が必要となります。
- 校正ゲラの段階で情報の確認をさせてください。
- 記事が掲載された場合は掲載見本（DVD、掲載紙、掲載誌等）を美術館広報担当へご寄贈ください。

申請書送付先：富山市ガラス美術館 広報担当 E-mail: bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Fax：076-461-3310